

# あつみの元気満載 「やまがた元気な風展」

## 開催

〜食と職、人をつむぐフォーラム〜



コンテストに出品されたお弁当

温海地域の活性化を目指し、「食と職、人」をテーマに「やまがた元気な風展」があつみ温泉温海川河畔「かじか通」で六月十九日〜二十日の二日間、吉村山形県知事らを迎え開催されました。

あつみ温泉の「かじか通り」は、「人に優しい道」をコンセプトに東京大学の堀教授が設計し、昨年完成したもので堀教授からは「道は仕事が出て来て完成ではない、どう使うかが大事だ」との指導のもと、温泉街を散策できるように足湯、チットモッシェなどを配置しています。

一日目は、風展の成功を祈願する神事に引き続き、地元食材とあつみ杉の弁当箱を使ったお弁当コンテスト、水辺のオープンカフェ、あつみ温泉の桜の木で作ったコカリナ演奏などのほか、盛りだくさんのイベントが開催されました。



水辺のオープンカフェ



お弁当コンテストの審査の様

お弁当コンテストでは、知事、市長・奥田シエフ・小野木会長といった方々の厳正な審査の結果以下の方が各賞に選ばれました。

### ◆企業部門大賞

(株)万国屋

(地域の豊かさ満点で最高点)

### ◆特別賞 2点

民宿 咲

JA庄内たがわ温海女性部かぶりっ子

### ◆一般部門大賞2点

斎藤啓子(温海)やさしさ・愛情

五十嵐光浩(湯温海)技術・完成度

### ◆小学生部門大賞

黒井ふうと(8歳) 創意工夫

また、十九日は特設会場において

吉村知事・奥田シエフ・長南光さん・

小野木会長の4名による「やまがた

元気な風展〜食と職、人をつむぐフ

ォーラム」と題し、山形の良さ、食

に対する思い、おもてなしの心など

それぞれの立場からお話しいただき

ました。

そのほか地元語り部による「足湯に浸かって昔語り」、足湯を使った

「フットセラピー」などの施設体験

森林組合による「木工教室」など多

彩なイベントが催されました。

また、沿道には商工会女性部の売店や海産物、手づくりお菓子などのテントが立ち並び大変な賑わいでした。二日間、あつみの元気を創造すべく「やまがた元気な風展」を実施し、改めて温海地域の素材の多さと、普段何気なく見過ごしているものでも立派な地域資源・財産であり、地域興しはそこに住む人の「やる気」が一番と痛感いたしました。

(温海支所 五十嵐)



女性部温海支



コンテストに出品されたお弁